

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公開番号】特開2012-144705(P2012-144705A)

【公開日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【年通号数】公開・登録公報2012-030

【出願番号】特願2011-266621(P2011-266621)

【国際特許分類】

C 09 J 183/07 (2006.01)

G 09 F 9/00 (2006.01)

C 08 L 83/07 (2006.01)

C 08 K 5/5313 (2006.01)

C 08 K 5/5415 (2006.01)

C 08 L 83/05 (2006.01)

C 09 J 183/05 (2006.01)

【F I】

C 09 J 183/07

G 09 F 9/00 3 4 2 Z

G 09 F 9/00 3 0 2

C 08 L 83/07

C 08 K 5/5313

C 08 K 5/5415

C 08 L 83/05

C 09 J 183/05

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像表示装置の画像表示部を有する基部と透光性の保護部との接着に使用する熱硬化型ポリオルガノシロキサン組成物であって、

両末端のケイ素原子にアルケニル基を有する、直鎖状ポリオルガノシロキサン(成分A)、

両末端のケイ素原子に水素原子を有する、直鎖状ポリオルガノハイドロジェンシロキサン(成分B1)、

一分子中に、ケイ素原子に結合した水素原子を3個以上有する、環状ポリオルガノハイドロジェンシロキサン(成分B2)、

白金系触媒(成分C)、及び

接着付与剤(成分D)

を含み、

成分Aのアルケニル基の個数Vi_Aに対する、成分B1の水素原子の個数H_B_1と成分B2の水素原子の個数H_B_2との和である個数(H_B_1 + H_B_2)の比が0.2~1.2であり、

H_B_1が、H_B_1 + H_B_2に対して0.1~0.8であり、

組成物の 2 3 における粘度が、2 0 0 0 c P 超、1 0 0 0 0 c P 以下である、熱硬化型ポリオルガノシロキサン組成物。

【請求項 2】

(B 2) が、R₂H SiO_{1/2} 単位（式中、Rは水素原子又はC₁-C₆アルキル基を表す）及びSiO_{4/2} 単位からなり、一分子中に、ケイ素原子に結合した水素原子を3個以上有する、環状ポリオルガノハイドロジエンシロキサンである、請求項1記載の熱硬化型ポリオルガノシロキサン組成物。

【請求項 3】

成分Aの2 3 における粘度が、2 0 0 0 c P 超、1 2 0 0 0 c P 以下である、請求項1又は2記載の熱硬化型ポリオルガノシロキサン組成物。

【請求項 4】

成分Dが、アルコキシランである、請求項1～3のいずれか1項記載の熱硬化型ポリオルガノシロキサン組成物。

【請求項 5】

請求項1～4のいずれか1項記載の熱硬化型ポリオルガノシロキサン組成物を用いて、画像表示装置の画像表示部を有する基部と透光性の保護部とを接着した画像表示装置。